

解決局面を迎え一糸乱れぬ団結を確認！

第76回定期全国大会



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 平山 芳夫
編集者 清水 孝次

2008年8月15日
第1457号

●国労加入を 大胆に訴えよう！

国労本部は7月30～31日、伊東市「ホテル聚楽」において第76回定期全国大会を開催した。
1047名不採用問題で解決局面を迎えての大会開催となり、濱中本部書記長が集約答弁で「緊張感ある、迫力ある大会であった」と述べるなど、解決へ向けた闘いの強化と一糸乱れぬ団結を確認しあつた大会となった。

佐藤書記長を 議長に選出

大会は、地本の佐藤正幸書記長を議長に選出し、2日間に亘り討論した。
冒頭、挨拶に立つた高橋中央執行委員長はこの1年間を振り返り次のように述べた。

①貨物和解

3月27日、愁眉の課題であつた中労委での貨物和解が成立し、差別のない健全

かつ正常な労使関係を確立する上で大きな礎を築き上げる事が出来た。本部はこの和解を中間的な到達点と位置づけ、今後は貨物職場における差別是正、公平・公正な人事運用、そして国労敵視の労務政策の転換に向けた本格的かつ新たな闘いの出発点とし、国労組合員が不公平感を感じることに築き上げ、明るい国労組織の展望を切り開くものとしていく。

②組織拡大

貨物会社、旅客会社で相次いででの平成採用者の国労加入が全国から報告されている。この間の組織拡大・経験交流の教訓から学べば、国労自身が、とりわけ役員・活動家自身が20年余にわたる培われてきた意識を大胆



に変革しなければならぬところなきにきいて。組織分裂で切り崩され、少数派となつた労働組合が、その後の反転攻勢によって多数派に転じた歴史は数えるほどしかない。国労は自らの運動の正しさに確信を持ち、

この間の運動の成果と到達点を梯子にすべての職場で自信を持って組織拡大運動に望み、新たな金字塔を建てる決意で勇気を持って取り組む。

③JR不採用問題

私達の最大の組織的課題であるJR不採用問題の解決について、国労は第76回定期全国大会の名において、

裁判外での政治的和解の道を求め、話し合い解決を促す裁判所からの「提案」を受け入れる態度と誠実に対応する決意を内外に表明したいと思う。
解決の機運は高まっている。組織の総力を挙げた結果として、国労は幾多の試練をかいくぐり、満身創痍の

なかで取り戻した総団結の力によって、何度も押し返された解決の扉を開くところまでたどり着いた。解決を先送りさせないためにも関係者の心一つにして、「知恵と力」を出し合い一日も早い解決実現まで持てる力を出し尽くす決意を確認し合うことが重要だ。

「不採用問題」話し合いで解決を 東京高裁提案

今全国大会は、7月14日に開かれた鉄建公団訴訟控訴審の第10期日弁論の場で、

南敏文裁判長から「裁判所の判断以外にも方法はある。訴訟外で個別にまたは代理人同士で話し合うことはできないか。ソフトランディングができるかどうか考えたい」との提案があり（原告である四者・四団体は受け入れを表明した）、翌15日には、冬柴国土交通大臣（当時）が「お受けしてその努力はすべきだ。私の職権の中であれば力いっぱい誠心誠意、解決に向かつてやるべきだ」と記者会見で述べるなど、解決交渉へ向けて大きな局面を迎えるなか、国労の今後の闘いと一層の団結が問われる大会であつた。

また、来賓のみなさんも南裁判長、冬柴国交相の発言に触れ、これからは本場の闘いとなる、団結を崩さず解決に向かつてほしい、などと解決に向けて激励してくださつた。

太田克彦代議員の 発言に拍手

方針討論では、地本選出の太田克彦代議員（中南信支部執行委員長）がこの間の地本の活動を報告した。とりわけ、上諏訪駅での田中久美さんの国労加入の話や新津雄太君の新採加入の報告。また6年半ぶりにオルグが再開された紋別・美幌闘争団との連帯した闘いの報告に大きな拍手が寄せられた。



「一日も早く解決を！」
6月8日 長野でのオルグに先駆けて県民に訴える紋別・美幌両闘争団長

「学び・広げ」組織拡大を!

支部・分会 組織・教宣部長会議を開催

地方本部は7月11日、東日本本部から武田幸喜組織部長と伊藤隆夫教宣部長を招いて、支部・分会「組織・教宣」部長会議を開催した。

地本から桜井正広青対部長と清水孝次教宣部長が問題提起し、各機関からの報告と意見交換を行なった。

会議は平山地本委員長の挨拶で始まり、続いて東日本本部武田組織部長より新規採用者をはじめとした組織拡大の現状などについて報告を受けた。

1、国労を取り巻く組織状況について

①一括和解以降、新入社員
の組合加入の動向も変化
をもたらしている。

和解成立以前は入社後の
研修期間中に東労組に便宜
が図られ全員加入であった
が昨年、今年は現場配属段

階で東労組に加入という状
況

②36協定締結問題やライフ
サイクル見直しなどで東
労組と会社の関係が微妙
に変化

③JR労組の立ち上げ
2、組織拡大の取り組み

①新採獲得にむけた準備と
会社の対応

東日本本部、各地方・地
区本部は、本社・各支社に
対し個人情報取り扱いや
他労組に便宜を図る事など
いように公正、公平に取り



報告する武田組織部長と伊藤
教宣部長 (左側)

扱うよう申し入れを行っ
てきた。会社の対応は、
国労が申し入れた内容
をほぼ全体に周知させ
名簿の扱いなども他労
組へ便宜を図ることは
見られなかった。

②グリーンアドバイザー
等指定の取り組み

③入社式宣伝行動

④新入社員の現場配属
と対応

国労は事前に労組説
明会を開催させること
を要請、しかし支社、
職場ごとに対応が違い、
配属段階ではまた公平、
公正な対応をしている
状況にない現場もみら

⑤貨物会社の新採対策
一括和解が成立し、会社
れた。



も公平に取り扱うことを表
明したが約束違反と思われ
る事象があり本部が会社
に抗議

3、組織の現状と今後の取
り組み

一括和解以降30名以上の
仲間が国労に復帰・加入し
ている。勇気を持って国労
加入を呼びかけ更なる拡大
を職場から取り組む。

新採の組合員を迎えて

【長野運輸分会】

議事は、3支部から今ま
での組織拡大の反省や苦悩、
成果の報告に続き、分会か
らの発言を受けた。

長野運輸分会からは、新
津君の加入で25年ぶりに竹
の子狩りを開催し50名を集
め、分会組織が活性化する
と共に先輩組合員も鍛えら
れた。また、会社は国労の
イベントにわざと会議を重
ねる時もあるので知恵を出
し合い対処する。青年労働

さらに東日本本部の伊藤
教宣部長は国労東日本のホー
ムページ開設について「今
の若者は新聞を読まないが
パソコンは覗いているよう
だ。パソコンを通しての情
報に力を入れた」と述べ、
また分会掲示板の活用につ
いて報告し、自らの職場の
実態を交え教宣活動の重要
性を訴えた。

者の悩みの受け皿として国
労組合員が先頭にたつ、と
報告を受けた。

閉会挨拶で伊藤副委員長
は、新津君の国労加入で会
社や組合に与えた影響は非
常に大きいものがあり、組
織活性化のために国労の方
針に従って地道に職場で頑
張ろうと述べ、組織強化拡
大、教宣活動強化を確認し
会議を終了した。

明るく！元気に！！

東日本婦人部学習交流会

7月12～13日、別所観光ホテルで「第18回明るく！元気に！東日本婦人部学
習交流会」が開催された。長野地本から婦人部長の倉石真知子さんと4月1日
付で国労に加入した田中久美さんの2名が参加した。

学習交流会は東日本本部
高野書記長、佐々木婦人部
長の挨拶で始まり、『月刊
労働組合』編集部の田上豊
彦氏を講師に招き「国鉄分

割民営化攻撃と女性の権利
擁護」と題して講演してい
ただきました。

私の記憶の中で少しづつ
薄れ始めてきた20数年前の

不当な国労への攻撃、そし
て妊娠した私に対する理不
尽で、非人間的な攻撃を思
い出し、改めて怒りと闘う
決意を新たにしました。



学習交流会に参加した国労東日本婦人部の皆さん

3月31日付でJRを退職
された神津みどりさんにも
参加していただき、東日本
本部婦人部一同が、神津さ
んの今までの『がんばり』
に心から労をねぎらい、新
たな門出にエールを送るこ
とができました。

また、4月1日付で、東
労組から国労に加入された
上諏訪駅の田中久美さんに
もこの交流会に参加してい
ただき、JRに採用されて
からの経過と職場の状況、
そして、国労で頑張る決意
を述べてもらい、「若いパ
ワー」を心強く思ったのは
私だけではないと実感しま
した。

「明るく！元気に！働く
こと」この事こそが、私た
ち国労東日本本部婦人部全
員の願いです。一人では何

◆退職の際は、鉄道退職者の会への加入を！◆
◎鉄道退職者の会 長野地方連合会
電話 026-226-6658

◆交運共済からのお知らせ◆
マイカー共済の新規加入を！
◎全国交運共済生協 長野事業部
電話 026-291-5057 JR:067-2583

も出来ないけれど皆が集ま
れば「明るく！元気に！働
くこと」ができる！私は信
じています。
(倉石真知子)